

わ
輪を和でつなぐ

しまはち通信



Shima8 news



通所

の作品をご紹介します。

モップの大筆を使い、書初めをしました。

八王子市の
障害者文化展に出品しました。

一年を振り返って



－「輪」を「和」でつなぐ－

この理念のもと、平成23年4月4日、島田療育センターはちおうじは歩みだしました。

－水面（みなも）に放たれた一つの石。その石がまっさらな水面に波紋を描いていきます。その石は、「子ども」です。「家族」です。その波紋は、はじめは小さいけれど、ゆっくりと広がっていきます。大きな輪をかもし出していきます。その「輪」を和みの「和」でつなげます。そして、笑顔の「輪」で包み込んでいきます。「輪」をつなげるのは、私たちです。「子ども」「家族」に関係するすべての人々が「輪」をつなげていきます。－

そんなイメージでこの理念は生まれました。病院、保育園、幼稚園、学校、福祉施設、行政機関など、子どもたちに関係する多くの機関との連携の第一歩を踏み出したつもりでしたが、皆さんいかがだったでしょうか。

1階では、障害児者外来診療事業（療育診療）と一般小児科外来事業（こどもクリニックえみんぐ）を行いました。療育診療では、障害児に対して、診断・評価・リハビリ訓練・指導を行いました。地域のニーズは高く、1年目から約1000名の新規患者さんが来院しました。

「こどもクリニックえみんぐ」では、障害のあるな

しに関わらず、すべての子どもさんが気楽に来ていただけるように診察・治療、予防接種、乳幼児健診を行いました。しかし、まだまだ認知度は低く、来院数は目標に達しませんでした。一人でも多くの子どもさんに快適な医療サービスを提供していきたいと思っています。こどもクリニックえみんぐをよろしくお願いします。

発達障害児支援室では、発達障害児、肢体不自由児のグループ活動を行いました。また、姿勢、遊び、感覚、コミュニケーション、事故、予防接種など、多岐にわたる講習会を行いました。また施設支援も行いました。

2階では、6月から重症心身障害者通所事業の活動を開始しました。14名の方が通所しています。生活の質の向上に取り組み、カラオケや外来でのもちつきなどみんなで考えさまざまな活動を行いました。今年3名の方が成人式を迎えました。平成3年、私が医師2年目に八王子小児病院で新生児科医として働いた時入院した3名です。私の多摩地区での医師人生はそこから始まりました。その3名の成人式に出席できたことは私にとってとても大きな出来事でした。

来年度も更に島はちを高めていきたいと思います。よろしくお願いいたします。

（所長 小沢 浩）

多くの方に利用して頂きました

当センターも八王子市に開設して1年が経過しました。利用者の述べ人数は、4月開設時は月928人（療育診療771人ーリハ訓練・心理指導も含む、小児科診療157人）、一日平均46人の利用者数でしたが、平成24年3月には月2575人（療育診療1701人、小児科診療874人）、一日平均122人まで増え、年間利用者総数は22,619人となりました（図1）。

障害児者を対象とする療育診療に関わる電話相談件数は今年度1128件あり、療育診療の新患総数は974人になりました。小児科診療も少しずつ増えて、多い月は一日平均40人程利用して頂けるようになってきています。

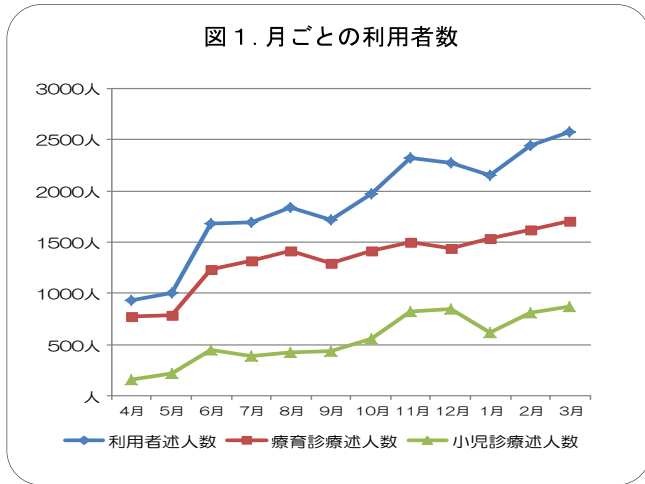
職員数は常勤非常勤合わせて58人（内医事業務委託8人）と医療機関としては決して大所帯ではありませんが、職員一人一人の努力と誠意を尽くして、多くの方々に利用して頂けるようにこの1年がんばってきました。手探りの1年間ではありましたが、関係機関や地域住民の皆さまからの温かいご支援もあり、大きな事故もなく各事業を行えたことをありが

たく思っています。

平成24年度も、利用者の皆様にとって満足して頂けるサービスが提供できるように創意工夫をこらして運営していきたいと思っています。

（副所長 鮎澤 浩一）

図1. 月ごとの利用者数



ご家族向けの講習会



小集団指導場面

見学について

開設以来、見学者は絶えることがありません。4月はお披露目もあり、146名の方に来ていただきました。毎月、療育関係者、行政関係、保育園・幼稚園・学校関係の方々、ボランティア希望者など、平均30件前後の依頼があります。

今年度は国際厚生事業団の「平成23年度JICA 集団研修 母子保健福祉行政」の研修コースにもなり、写真のように国際色豊かな見学もありました。見学に関する調整や当日の案内は福祉相談科の仕事となります。地域に開かれたセンターになるように、これからも多くの方々の見学を受け入れていきます。

（福祉相談科長 松山 容子）



ミニクリスマス演奏会

12月21日・22日は島田療育センターはちおうじのクリスマスデーでした。

センター内はツリーやモールで装飾され、職員はサンタの衣装や帽子を身にまといクリスマスモード一色です。

1F療育診察室前ロビーではミニクリスマス演奏会が行われ、職員有志が「シングルベル」「聖しこの夜」「山の音楽家」3曲をハンドベルで演奏しました。

職員はハンドベル初心者が多く練習時間も少なかったため、無事演奏できるか不安でしたが、聴いて下さったたくさんの利用者様から温かい拍手を頂くことが出来ました。



他に、絵本の読み聞かせやサンタさんからのプレゼントがありクリスマスデーは大盛り上がり。短い時間でしたが、子供達の笑顔が溢れる楽しいひと時でした。
(管理科 田村)

もちつき会

1月20日金曜日に「島はちもちつき会」を行いました。雪のちらつく風情ある天候の中、療育診察室前で臼と杵を用いておもちをつきました。

通所の利用者様、外来利用者様、ご家族の皆さんで「よいしょ～」の掛け声に合わせて杵を振りおろしおもちをつきました。最初は餅つきの大きな音に驚かれている方もいらっしゃいましたが、徐々におもちをつく感触で笑顔が見られる方、おもちをつく音や「よいしょ～」の掛け声に笑顔が見られる方などみなさん楽しまれました。

最近ではあまり見られなくなったおもちつきで冬を感じただけなことと思います。そして、おもちつきの締めくくりに一振りには小沢所長。持ち前の力強さでど～んとおもちをつき締めくくりました。



(通所科 大谷)

職場紹介

リハビリテーション科ってどんなところ？

第2回

リハビリテーション科は理学療法士（PT）5名、作業療法士（OT）3名、言語聴覚士（ST）5名（常勤4名・非常勤1名）、心理判定員3名（常勤2名・非常勤1名）で構成されています。

PTは身体機能面でお困りの方へ体を動かしたり、姿勢を保つことや移動の練習、呼吸機能面などの評価・指導を行っています。OTは感覚運動面や行動面、身辺動作、手先操作に困難を抱えるお子さんに、遊びを中心とした様々な活動を利用して運動、身辺動作、心理社会的な発達への評価・指導を行なっています。STは言語発達遅滞や構音、食事等でお困りの方へ言葉や発音の練習、コミュニケーション手段、食事等の評価・指導を行っています。心理判定員は、発達検査や心理検査を行っています。また行動や認知・学習面に困難を持つお子さんに児童精神科医師と

協力し個別的な相談・指導を行う他、小学生中心に「K-フレンズ」（運動をしながら集団の中で行動調整を行うグループ）を行っています。

その他に摂食外来（食事の栄養、姿勢、口腔機能面の評価・指導）や補装具外来（補装具についての相談・評価・指導）、すくすく外来（1～2歳で言葉や行動に心配のあるお子さんの評価）を医師と各専門家が連携して行っています。

また、発達支援室の一員として小集団でのグループ指導や地域の保育園、幼稚園、学校などへの施設支援、専門家ならではの講習会（ご家族や地域施設職員の方向け）を行い、当センターをご利用いただく皆さんの家庭生活だけでなく、地域の皆様へ障害についての知識を深めていただき地域で生活しやすい環境づくりへの支援を行っています。
(リハビリテーション科長 甲斐 智子)



講習会について

島田療育センターはちおうじでは、医師、リハビリスタッフが中心となって講習会を行っています。この1年間行ってきたものをまとめました。

様々な講習を行っており、どの月の企画もご参加いただいた方からは概ね好評をいただいています。参加される人数はさまざまであり、定員に達していない月もあります。来年度も地域の方向けの講習会を行っていきますので、ご興味ございましたら是非ご参加いただけたらと思います。よろしくお願ひ致します。(リハビリテーション科心理士 神田 聡)

	テーマ(主な内容)	主な対象
6月	就学情報交換会(就学のガイダンス)	就学前児の保護者
7月	「正しい姿勢で楽しく食べよう」(食事について)	保護者
8月	「気になる行動の見方と対応」(行動面への対応について)	保育士
10月	「楽しく遊んで育ちを促そう」(発達と遊びについて)	保護者
11月	「子どもの身近な事故とその予防について」(事故への予防について)	一般市民
12月	「こころとことばを育むコミュニケーション」(言葉の発達について)	保護者
1月	「学習障害の評価と指導」(学習障害児への検査、指導について)	教員
2月	「“できる”につなげる子どもの見方」(運動等への支援方法について)	保護者、保育士
3月	「子どもの予防接種」・予防接種について	一般市民

ほ と ひと い き

前号の箱崎さんの、「どこかおすすめの場所ありませんか」のお答えで、季節は紅葉狩りからお花見になってしまいました。高尾の多摩森林科学園をおすすめします。高尾の駅北口歩いて10分、入園料は300円(4月は400円!)



私はこの10年位毎年同じ仲間と4月の午後2時間くらい園を散策し、夕食は‘うかい鳥山’で、世塵をのがれたほんの一刻を過ごしています(園内お酒は禁止ですので、ここで存分に)。広い丘陵地帯に250種1700本の桜があり3月上旬から4月下旬までは好シーズンです。太白、御衣黄(ぎょいこう)、関山(かんざん)、御車返(みくるまがえし)、雪洞桜(ほんぼりさくら)、天川、万里香、楊貴妃、これらは皆、桜の名前です。咲いている桜はその年で違っていてその時の花を愛でながらの道行は楽しく嬉しいことです。



さらに温泉をご希望なら、高尾の湯‘ふろっぴィ’はいかがでしょう。優雅な1日をお約束します。

(福祉相談科長 松山 容子)

おしらせ information

■【講座】■
『ボランティア講習会』
4/21(土) 13:30~15:30

◆場 所…当センター
◆申込み電話番号…042-634-9559
◎費用はかかりません。お気軽にご参加下さい。

島田療育センターはちおうじ 小児診療

こどもクリニック
 えみんぐ

【ロタリックスのワクチン始めました】
◆料 金：1回 ¥13,000 + 消費税

その他 各種 予防接種を行っています。予約制となりますのでお電話でお問い合わせください。

■診療内容

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:00	●	●	●	●	●		
13:45~14:45	予	予	予	乳	予		
15:00~17:00	●	●	●	●	●		

予…予防接種 乳…乳児健診
*土日他、祝日も休診となります

TEL. **042-634-9008**

